

## 事業を通じた 価値創造

事業を通じて価値を増大(創造)し、  
引き続きステークホルダーの皆様から  
信用される企業をめざします。



## お客様に対する価値創造

### フレッツ光サービス

ブロードバンド・ユビキタス社会の実現に欠かせない重要なインフラとして、通信事業者のアクセスポイントからエンドユーザーまでの間を光ファイバーケーブルで結び、情報通信サービスを提供する光アクセスサービスです。

NTT西日本では、次世代ネットワーク(NGN)ならではの利便性と信頼性を兼ねそなえた「フレッツ 光ネクスト」の提供を2008年3月より大阪市の一部エリアで提供を開始して以降、2009年1月から政令指定都市、同年3月から県庁所在地級都市の一部へ提供エリアを拡大してきました。

そして2009年度は、「フレッツ光」の普及促進に向けてサービスラインアップを拡充。コンテンツやアプリケーション、通信サービス、情報機器など、網羅的な内容をお客様に提案しました。また、県庁所在地などの都市に「フレッツ 光ネクスト」をさらに拡大した結果、「フレッツ光」の契約数は、約572万件となりました。

※ サービス提供エリアであっても、設備の状況等によりサービスのご利用をお待ちいただく、サービスがご利用いただけない場合がございます。サービス提供エリアにつきましては、お問い合わせいただくもしくは弊社ホームページにてご確認ください。



関連リンク: フレッツ光 ネクスト NTT西日本 エリア情報  
<http://flets-w.com/next/service/area/index.html>

### ソリューションビジネス

法人ビジネス分野については、自治体・防災・教育・農業・金融・医療等の分野に対し、業界の特性や動向を踏まえたソリューションを中心に効率的かつ効果的な営業活動を展開しました。特に顧客、取引先との接点強化による顧客満足度向上と業務効率(集約)化によるコスト削減に貢献するコンタクトセンターソリューションの展開に注力しました。さらに顧客のシステムをお預りし、さまざまなリスクから守る、データセンタービジネスの拡大に努めました。

また、2008年3月より提供開始となったNGNを活用した法人向けネットワークサービス「ビジネスイーサワイド」など、顧客に信頼性が高く、安心なネットワークの提供を進めています。一方、地域社会に対しては、デジタル・デバイド(情報格差)の解消および地域のニーズに合わせたブロードバンドサービス環境の提供に向け、各自治体と連携し、ブロードバンド環境整備に積極的に協力しました。

### データセンタービジネス

従来のデータセンタービジネスは、地震、災害対策用としての設備預り保守が主な需要であり、お客様機器の運用は、お客様が指定したベンダーが個別に実施していました。

しかし近年においては、①事業継続計画(BCP)や内部統制の重要性の高まり、②グリーンIT※1によるCO<sub>2</sub>削減への取り組み、③クラウドコンピューティング※2の盛り上がりなどにより、データセンタービジネス市場は拡大しています。

これらの背景を踏まえ、NTT西日本では、システム監視・保守・運用サービス「TSWATT※3」や現地運用代行等の運用保守業務のアウトソーシングなどにより、付加価値を高めたサービスの提供を行い、高品質なセキュリティー環境や無停電電源設備の整ったデータセンターへのお客様システムの誘致に取り組んできました。

今後は、さらにお客様ニーズに応じたデータセンタービジネスを展開していきます。

- ※1 IT機器の導入、運用、廃棄までのすべての面で、環境への負荷を減らすための考え方。
- ※2 お客様がサーバーの設置場所を意識せず、ネットワーク経由でサービス提供を受けるというコンピューターの利用形態。サーバーはデータセンターなどに設置している。
- ※3 お客様のシステムを見守り続けるNTT西日本のトータルサービス。遠隔監視センターに設置された共有プラットフォームからお客様のシステムを常時監視することで、システムの状態を把握し故障を早期に発見するとともに、故障発生時には故障箇所の復旧までをトータルサポート。